

第2回江南市スポーツ推進計画策定委員会 会議録（概要）

会議名：第2回江南市スポーツ推進計画策定委員会

開催日時：令和元年8月9日（金） 午後1時25分～午後3時10分

場所：KTXアリーナ 2階 会議室3

委員：出席委員8名

脇坂 康彦（江南短期大学）
石井 雅彦（社会教育委員）
櫻澤 弘章（江南市体育協会）
山田 尚代（江南市スポーツ推進委員会）
石黒 道世（江南市スポーツ少年団）
西部 茂夫（江南市老人クラブ連合会）
伊藤 光洋（社会福祉協議会）
井上 梨乃（市民代表）

欠席委員1名

斉木 英男（江南市小中学校校長会）

事務局：村 良弘（教育長）
菱田 幹生（教育部長）
中村 雄一（スポーツ推進課長）
宇佐見 裕二（スポーツ推進課副主幹）
前田 一樹（スポーツ推進課スポーツ推進グループ員）
光永 翔太（スポーツ推進課スポーツ推進グループ員）

傍聴人数：0人

[教育長あいさつ]

[委員長あいさつ]

[議題1. 第1回策定委員会の議事録について]

事務局：第1回策定委員会の議事録について説明

[議題 2. 江南市スポーツ推進計画（案）について]

事務局：第 1 章、第 2 章の説明

第 1 章 計画の策定にあたって

- 1 計画策定の趣旨
- 2 計画の位置づけ
- 3 計画の期間
- 4 本計画におけるスポーツの定義

第 2 章 江南市のスポーツを取り巻く現状

- 1 人口等の現状
- 2 スポーツ・学校体育施設の概要と利用状況
- 3 スポーツ団体等の状況

委員：小中学校の学校開放はホームページや広報で知っていたが、公立高校の昼間のグラウンド開放が行われているのを初めて知った。どこかに載っているのか。

事務局：通常市内グラウンドで利用できない硬式野球を主に高校のグラウンドで実施している状況である。

委員：小学校の昼間を開放していることも知らなかった。

事務局：小学校についてはスポーツ少年団活動が主なものになっている。

委員：本計画におけるスポーツの定義で精神の涵養という言葉があるが、もう少し分かりやすい言葉にはできないか。

事務局：スポーツ基本法の全文を載せているが、難しい言葉も入っている。一度検討する。

委員：作業部会はどういった方が委員なのか。

事務局：子ども政策課、福祉課、生涯学習課、教育課、高齢者生きがい課、健康づくり課、スポーツ推進課の課長級で議論している。

事務局：第 3 章の説明

第3章 計画の基本的な考え方

- 1 基本理念
- 2 基本目標
- 3 施策体系

委員：江南市が特に力をいれた部分はどこになるのか。

事務局：理念のキーワードになっているが、誰もが気軽にという部分。市民が身近に、誰もが気軽にという部分が各計画でスローガンのものとして使われているので、その点を継承しながら策定していきたい。

委員：アリーナでは高齢者に対しての減免がない。より多くの高齢者に使っていただけるように、考えていただきたい。

委員：高齢者のスポーツの推進ということが非常に難しい問題である。スポーツ大会を開催しても参加者が少ない。費用の面でも、少しでも減免してもらえるとありがたい。

事務局：この計画にそのあたりのことを掲載していくのは、少し難しいところである。

委員：この計画では義務教育までが子どもという扱いだ、小学生と中学生は競技性やスポーツのやる形、内容が全く違うが一緒にしていいのか。また、幼児の外遊びと中学生の部活動が一緒というのも想像がつかない。

事務局：ここの区分けは悩むところである。義務教育までは、部活動、学校、大人がある程度ステージを用意してあげるが、成人になると自ら運動する機会を得にいかなければならない。運動・スポーツをする環境を大人の方が用意する相手をイメージしている。幼児に対して、小学校に対して、中学校に対してというのは第4章の細かな施策の展開で説明、枝分けしていく部分になっていくので、後ほどまた意見をいただきたい。

委員：人口の推移だが、表を見るとそれぞれの年代別であるが、例えば独身世帯と子育て世代だと関わり方も違うと思う。もう少し細かいところがあつた方が、この後の施策のところでも分かりやすくイメージがわくと思うがいかがか。

事務局：年齢に関しては、細かく分けることができるか確認するが、独身と子育ての部分の示し方については非常に難しい。この計画に入れていくかどうか検討させてほしい。

委員：基本理念の考え方で「だれもが気軽にスポーツを楽しめるまちこうなん」とあるが、「こうなん」がひらがなであるのは意味があるのか。また「健康」、「健康づくり」という言葉をどこかに入れてほしい。

事務局：目標のキーワードとして入ってくるのか、文章の中に入ってくるのか、スポーツの基本計画にふさわしい程度に、そのような言葉が入れることができるか少し検討させていただく。またひらがなであるのは漢字よりは、柔らかく「こうなん」とある方が親しみやすく、見やすいという趣旨がある。

委員：施設の利用者数というのは、障害者も健常者も含めた利用者数でよいか。

事務局：はい。

事務局：第4章の説明

第4章 施策の展開

1 市民の誰もが楽しめるスポーツの推進

委員：駅伝の話で、昔は飛高のあたりを走っていたが、現在は北部でやっている。今は応援団も少ないし、駅伝の言葉も出てこなくなった。そのあたりはどうか。

事務局：すいとぴあ、フラワーパーク等利用し、北部で開催している。市内の中心で開催するとなると、交通の遮断、警備等の問題があり、現状は北部がベター、ベストと考えている。参加チームについては160チームから190チームで推移している。

委員：子どもというワードが出てくるが、子ども会はどうか。

事務局：子ども会への入会が、この計画にリンクするところがあれば、担当課も含めて検討していく。

委員：子ども会も含めて、役員の担い手が少なくなっている。

委員：部活動の嘱託講師配置事業というのは今どんな状況なのか。

事務局：各中学校4名程度、校長先生から講師さんをお願いしている。

委員：実際やっているのか。

事務局：学校によって種目は違うがやっている。

委員：給料の支払いがあるのか。

事務局：謝礼がある。

委員：決まり事としてやっているのか。他の市町では、総合型地域スポーツクラブ等に任せて、市全体で中学生の部活動関係を見るということもある。また中学校の部活動の種目が減ってきているがその対応をどのように考えているか。

事務局：先生方もオーソリティーではないので、経験のない部活を指導されるケースもあり、そのような場合に、指導の技術の部分で補うところで、部活動講師を委嘱している状況。一つの人材バンクとして、総合型スポーツクラブへ依頼をしていく方法も今後検討していく可能性がある。部活動の種目は他の種目との関係もあるので、種目を増やせるかは学校事情にもよる。またニーズが色々でてきている中で、学校は学校でやるのだが、それぞれの自分のニーズを満足させるためには、地域のスポーツクラブ的なものも活用していく方法も一つだと思う。

委員：高齢者のスポーツの推進で課題となっているのが、身近な場所で運動するというところで、運動教室の講師派遣をしているが、人材が今いないというところがある。人材育成支援というところがあるが、ここは支援ではなく、すでにいる方の育成だと思うので、スポーツを推進するという意味では、人材確保というのがどこかにつながって、スポーツと地域とのつながりが一つ必要ではないかなと思う。それをこの計画のどこに入れるのかは、事務局で検討いただくことかなと思う。もう1点、障害

者のスポーツ活動の推進についてだが、障害のある方がスポーツをする機会、意識が中々低い現状である。障害者スポーツにとって一般の方に知っていただくことが課題であることと、障害のある方が参加する機会とその意欲を高めることがとても必要なことである。計画の中で情報の提供というところがあるが、普及啓発も必要である。

事務局：第4章の続きを説明

- 2 市民の誰もが楽しめるスポーツの環境づくりについて
- 3 市民の誰もが楽しめるスポーツ連帯や情報の提供
- 4 施策の数値目標

委員：数値目標でコミュニティスポーツ祭の参加者数の目標値をあげるということで出ているが、2、3年前に事業の廃止も含め、検討するとの話も聞いたことがあるが、現在どのように考えているのか。

事務局：コミュニティスポーツ祭は今のところ事業を廃止する予定もなく、開催する趣旨は、とても大切なものである。市の行事として、もっと盛り上げられるような形にしたいと考えており、それを見る指標としても、この数字は是非活用していきたい。非常に重要なものであると市が考えているところで、是非載せていくのにご理解いただきたい。

委員：計画全体的なことだが、基本的に基礎データがあり、そこから江南市のスポーツ全体の課題抽出をすることによって、基本施策等が出てくると思うが、全体的な課題をこの計画に掲載する予定はあるのか。

事務局：1つの計画の策定の仕方として、計画のためにアンケートを行い、課題抽出という方法もある。この計画の中では巻末に連携しているそれぞれの計画等のアンケート調査結果があるので、その数値をまずは活用していく。見直しの時期等に入ってきたときに、改めてスポーツ推進計画のために行うアンケートが必要だということであれば検討材料としてやっていきたいと考えている。

委員：大学との連携のところで日体大との協定があるが、何か具体的な取り組みがあるのか。

事務局：具体的なイベントは行っていない。日体大が開催するフォーラムに参加

して市として情報を得るということはしている。今後、何か検討できれば催していくような形も少し考えていきたいと思って計画に記載した。

[その他について]

事務局：今後の予定の説明

[第2回江南市スポーツ推進計画策定委員会 終了]